

一般教育科目「あすなろう」について —食物栄養学科におけるあすなろう教育の実践と学生による授業評価—

田中知恵, 久富守, 桑原正臣, 橋本正和, 西岡征子, 武富和美,
溝田今日子, 児島百合子, 乗富香奈恵, 松田佐智子, 成清ヨシエ

(西九州大学短期大学部 食物栄養学科)

(平成 23 年 12 月 22 日受理)

“Asunarou” as General Education - The Educational Practice of Asunarou and the Evaluation of Students in the Department of Food and Nutrition -

Tomoe TANAKA, Mamoru HISATOMI, Masaomi KUWAHARA, Masakazu HASHIMOTO, Seiko NISHIOKA, Kazumi TAKETOMI,
Kyoko MIZOTA, Yuriko KOJIMA, Kanae NORIDOMI, Sachiko MATSUDA, Yoshie NARIKIYO

(*Department of Food and Nutrition, Nishikyusyu University Junior College*)

(Accepted December 22, 2011)

Abstract

We studied about the general education of “Asunarou”. During this time, we investigated the meaning of “the education of first year” and “the career education”. We examined the practical content of the class and the results of student evaluations for the year 2011–2012 in the department of Food and Nutrition. Through this process, we reported the educational meaning of “Asunarou”.

The examination of educational content serves an important purpose to our department. The data will be used to consider “the education of first years” or “the career education” in the near future. This will aid in the discussion of quality development and enrichment of Asunarou subjects.

Key word : あすなろう
教育
初年次教育
職業教育
授業評価

1. 緒 言

『あすなろう』は本学の特色ある人間教育の科目として平成15年度より開講している。授業科目名は建学の精神を示しており、本学独自の特色ある科目として展開されてきた。開講までの経緯と開講当初から6年間の授業内容の変遷については池田ら¹⁾によって述べられている。現在はこの科目が発展し、あすなろう科目群として一般教育科目の『あすなろう』(1年生前期・必修・講義2単位)、『共に学ぶあすなろう』(1・2年生通年・必修・1単位)、『あすなろう(就業)』(1・2年生通年・必修・1単位)、『あすなろう体験』(1年生通年・選択・2単位)の4科目が開講されている。これらの科目は密接に関連し、FD研修会や教務委員会等での全学的な協議、各科目担当間での調整、学科内での検討等を経て実施されてきた。

最近は多くの大学、短期大学において初年次教育とキャリア教育が盛んに実践されているが、本学ではこれらのあすなろう科目によって様々な取組がなされ、その多くを担っている。その中でも『あすなろう』は本学の建学の精神を反映した初年次教育として重要な科目といえる¹⁾²⁾。最近の『あすなろう』の授業内容はほぼ定着し、多くの部分は学科を横断した内容となっている。そのため現在は各学科より選出された担当者間での協議で具体的授業計画を立案し、それが学科会議、教務委員会に提案され調整実施されている。本年度は『共に学ぶあすなろう(栄養)』・『共に学ぶあすなろう(福祉)』・『共に学ぶあすなろう(保育)』(各2単位)を『あすなろう(就業)』(1単位)、『共に学ぶあすなろう』(1単位)に再編し、キャリア教育と本学独自の縦割り人間教育を実施した。あすなろう科目はこのような多くの検討、教員の努力を経て充実してきた。特に講義の『あすなろう』の内容は成熟したといえる。

しかし、その一方で大学・短期大学を取り巻く状況は劇的に変化し、入学してくる学生達も大きく変容しているのが現状である。このような変化に対応し、本学でも様々な検討がなされ『あすなろう体験』に入学前教育の内容を取り入れたり、キャリア教育の実施や実際に科目名に反映させた『あすなろう(就業)』の新規開講等、新たな展開を模索しつつある。

このような状況で『あすなろう』は、初年次科目としてだけでなく、将来栄養士となるために必要な学科のキャリア教育、導入教育としても極めて重要な科目となっている。将来、食と栄養の知識を有した専門人となるべき学生を教育するため食物栄養学科としての授業の検証は重要であると考えられる。しかし、池田らによる検証¹⁾以降、最近は講義『あすなろう』における授業評価とその検証が行われていないのが現状である。そこで今回は、

学科学生に注目し、食物栄養学科における初年次教育及びキャリア教育・職業教育として『あすなろう』はどのような意味を持つかについて授業内容と学生による授業アンケートの結果を検討した。

2. 授業内容及びアンケート調査

2.1 食物栄養学科のあすなろう科目の展開について

食物栄養学科におけるあすなろう科目の授業内容について概要を述べる。

2.1.1 『あすなろう』の授業内容

学習項目は①学校を知る(1回)、②スタディスキル(3回)、③職業意識の確立(5回)、④コミュニケーション(3回)、⑤先達に学ぶ(1回)、⑥人間理解(2回)であり、②のスタディスキルは昨年度より取り入れた新規項目となっている。またこの授業では学生が授業を理解し文章を書くことに慣れるようにするため、A4版のワークシートを導入し、授業の内容と感想を記入させている。

2.1.2 『共に学ぶあすなろう』の授業内容

授業は、学科1年生と2年生の縦割り授業で行われている。昨年度までは『共に学ぶあすなろう(栄養)』として、次に述べる『あすなろう(就業)』の栄養士としての職業教育・キャリア教育の内容も含んでいた。今年度より1単位となり、学科の専門4分野(栄養・調理、食品、情報、運動)に分け、グループ別の食育推進活動と研究を行っている。

2.1.3 『あすなろう(就業)』

授業では、学科の職業教育・キャリア教育などの内容が行われ、内容によって1,2年生縦割り授業とそうでないものに分かれる。

2.1.4 『あすなろう体験』

授業は、インターンシップ(約1週間)を必修とし、その他に学内外でのイベント及びボランティア体験を2つ以上選択し参加することとし、それらのまとめとしての体験活動報告を行うこととなっている。食物栄養学科では他学科で取り入れられている早期職場体験(アーリーエクスポージャー)については、過去の学科での協議の結果、体験先である病院・施設等で既存の実習科目(2年次開講)と混同され現場の混乱を招き学生の教育にとっても良い効果をもたらさないと結論に達し原則行わないこととなった。また、今年から入学前教育として入学予定者の学科イベント体験が導入され、来年度より本科目受講者で希望者はこの活動を体験活動の一部に充てることが可能となった。

2.2 『あすなろう』アンケート調査の概要

2.2.1 アンケートの対象科目について

本調査は、平成23年度前期の一般教育科目の「あすなろう」（講義）について食物栄養学科1年生を対象にアンケートを実施した。

2.2.2 調査方法及び設問

設問及び回答用紙を食物栄養学科『あすなろう』受講生に授業評価アンケートとして配布し回収した。評価項目3項目（設問1, 2, 3）、設問4以降を自由記述（ぜひ記入してください）とし、選択項目①～②⑩（設問4）、記述欄2項目（設問5, 6）を設けた。設問内容は今回愛媛大学の初年次科目アンケート調査報告書³⁾を参考に本学の実施内容に沿うよう検討し以下の通りの内容とした。

設問1. [有用性] この科目は、本学の特色を生かした初年次科目として設定されています。実際に受講してあなたが高校生から大学生へ変化する上で有用な内容でしたか。

設問2. [目的理解] 初年次科目を学ぶ目的（理由）は理解できましたか。

設問3. [来年度開講の是非] 来年度以降も初年次科目を開講した方がよいと思いますか。
（設問1, 2, 3）の評価は4から1ポイントで以下のようにな点数化した。

4⇒良い、3⇒やや良い、2⇒やや悪い、1⇒悪い

設問4. [受講の成果] 初年次科目を受講して以前に比べて変化した事柄を①～②⑩の中から挙げて下さい（何個でも選択可）。

設問5. [全体での授業] 全体で受講した授業の内容や教育方法について、良かった点と改善して欲しい点を記述してください。

設問6. [少人数での授業] 少人数で受講した授業の内容や教育方法について、良かった点と改善して欲しい点を記述して下さい。

2.2.3 アンケート実施状況及び回収率

アンケートは食物栄養学科『あすなろう』の最終授業終了後、平成23年8月2日に実施して回収した。受講者47名中39名の回答が得られ、回収率は83%であった。

3. 結果及び考察

3.1 あすなろう他3科目との関連性

あすなろう科目の授業内容について詳細は資料1～3に記載されている。

『あすなろう』の「スタディスキル」の項目は、資料

を基に次の内容についてゼミ形式で行った。スタディスキル1 「高校と大学の違い」、スタディスキル2 「ノートの取り方」、スタディスキル3 「新聞コラムを読んだの作文」である。学生は少人数（7、8名程度）にグループ分けし（全7班）、講師以上の学科全教員が各グループを担当した。この項目は学生が大学生活に早くなじんで授業に取り組めるよう開講初期の4月から5月上旬に設定されている。表3の学生の評価で良かった点に「ノートの取り方」が挙げられ、少人数の教育方法について肯定的意見がいくつも挙げられていた。少人数の授業によって教員や学生同士のコミュニケーションが円滑に進み短期間で多くの理解が得られている様子が読み取れた。

あすなろう3科目では、初年次教育やキャリア教育・職業教育が実践されてきた。本年度よりキャリア教育の義務化を受け、「共に学ぶあすなろう（2単位）」を再編し、そのうちの1単位分を新たに「あすなろう（就業）」として実施した。

平成20年12月の「学士課程教育の構築に向けて（答申）」の提言のように『学生が入学時から自らの職業観、勤労観を培い、社会人として必要な資質能力を形成していくことができるよう、教育課程内外にわたり、授業科目の選択等の履修指導、相談、その他助言、情報提供等を段階に応じて行い、これにより、学生が自ら向上することを大学の教育活動全体を通じて支援する「職業指導（キャリアガイダンス）」を適切に大学の教育活動に位置づけること』が求められるようになった。本学ではあすなろう科目を中心に総合的に教育することが重要であると考え。その一方で、科目として展開する場合に内容の整理と本学に有効なキャリア教育の具体的項目の棲み分けも必要である。学科の3つのポリシーが打ち出され、新たなあすなろう4科目が実施された今、再度、それぞれの内容について吟味しその位置づけを明確化することが求められる。『あすなろう』では、他のあすなろう科目と関連させながら初年次教育に加え、限られた時間で学科のキャリア教育のどの部分を取り入れ効果的に栄養士として必要な職業人としての人間教育を行っていくのか今後検討していきたい。

3.2 『あすなろう』アンケート結果について

設問1, 2, 3の評価項目は、強い肯定的評価を4ポイント、やや肯定的評価を3ポイント、やや否定的評価を2ポイント、強い否定的評価を1ポイントとして計算した。

評価結果は図1に示した。各設問の平均は、設問1が3.3ポイント、設問2が3.1ポイント、設問3が3.2ポイントであり、全て3ポイント以上で肯定的回答が得られた。

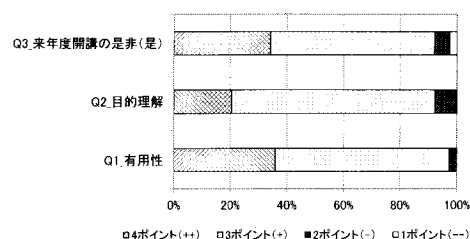


図1 アンケート結果 (Q1～Q3)

設問4は、複数回答であるので、各事柄につき全回答者のうちどれだけの割合で選択しているかについて算出した。設問の内容と結果は表1に示した。この結果より、[⑧コミュニケーションの重要性を知るようになった] 46.2%、[⑤学校の歴史や建学の精神など理解できるようになった]・[⑥将来のことを考えるようになった] 43.6%、[①先生やクラスの友人とのコミュニケーションが取り易くなった] 30.8%などが上位となった。

表1 受講の成果 (複数回答可)

	選択者数	計 (人)	学科平均 (%)
①先生やクラスの友人とのコミュニケーションがとり易くなった。	12	39	30.8
②ノートをうまく取れるようになった。	2	39	5.1
③メモを取るようになった。	8	39	20.5
④文章を書くのが苦でなくなった。	4	39	10.3
⑤学校 (西九州大学短期大学部) の歴史や建学の精神など理解できるようになった。	17	39	43.6
⑥将来のことを考えるようになった。	17	39	43.6
⑦授業中に集中して聴けるようになった。	1	39	2.6
⑧コミュニケーションの重要性を知るようになった	18	39	46.2
⑨色々な人がいることを理解できた。	8	39	20.5
⑩人と話しやすくなった。	8	39	20.5
⑪資料や情報を整理するようになった。	1	39	2.6
⑫自分の性格や能力について理解が深まった。	10	39	25.6
⑬専門科目を学びたい気持ちが強くなった。	7	39	17.9
⑭友人関係が広まった。	3	39	7.7
⑮教員との距離が近くなった。	3	39	7.7
⑯人前で上手に発表できるようになった。	0	39	0.0
⑰新たな知識や教養が得られ世界が広がった。	10	39	25.6
⑱本をよく読むようになった。	1	39	2.6
⑲将来の専門職への職業意識が強くなった。	8	39	20.5
⑳その他 (自由記述)・・・特にない	1	39	2.6

〔㉔その他 (自由記述)〕は「特にない」の1名のみの回答となり、受講の成果として①から⑱に挙げた以外での行動や意識の変化は特に記されていなかった。これにより今回挙げた項目は成果を記す項目として概ね妥当

な内容であると考えた。

設問5、6の記述欄については、表2に示す通りとなった。

表2 平成23年度 あすなろう（講義）アンケート記述

食物栄養学科

No.	全体で受講した授業内容や教育方法について、良かった点	全体で受講した授業内容や教育方法について、改善して欲しい点	少人数で受講した授業内容や教育方法について、良かった点	少人数で受講した授業内容や教育方法について、改善して欲しい点
1	全体で一斉に始めることができる。場所がーか所で良い。	配布物をテキパキして欲しい。	一人ひとりに教えてくれる。わかりやすい。	
2	西九州大学短期大学の歴史を知ることができてよかった。		一人ひとりにちゃんと指導してくれよかった。	
3		後で見直すためにもう少し資料が欲しかった。		少人数でも動きづらい授業もあったのでもう少しグループ分けして欲しい。
4		教室の指定掲示を早くして欲しい。		
5	コミュニケーションは将来のためになった。	ステディスキルはあまり身にならなかった。	みんなで話やすかった。	多くの意見は聞くことができなかった。
6		よくわからない部分が多かった。		よくわからない部分が多かった。
7	メモを取るようになった。		質問しやすかった。	
8				
9				
10				
11		色々なプリントがあったが量が多すぎてポイントがつかみづらかった。	少人数は良い。	教室での席がバラバラだったのでまとまっていた方がよかった。
12	コミュニケーションの授業はとてもためになった。			
13				
14	進路に関する講義があつてよかった。		大人数の方が良い。	
15				
16			個人の意見が聞けるし言いやすい。	
17				
18	より就職に向けた情報を得ることができた。	話が専門的すぎて少し難しいことがあった。	クラスの人たちと以前より仲良くなった。	説明が分かりにくいことがあった。
19				
20	熱心に教えてくれた。	もっと自分が意欲的にならなければいけないと思った。		
21				
22	基本的によかったと思う。		少人数は良いと思う。	
23	将来のことについて真剣に考えるようになって良かった。		ノートの取り方、コミュニケーションのことなど色々学べて良かった。	
24	キャリアマップや外部の人の講話などで色々な話が聞けて良かった。		授業の受け方、挨拶やコミュニケーションなど役に立つことが多かったので良かった。	
25	スライドの字が小さく見にくかった。		実践できる場があつてよかった。	
26		何回か「何を目的に話しているのか」わからないことがあった。	少人数の授業は良かった。	
27	パワーポイントなどを使って大切な所はちゃんと分かり易く教えてくれた。	受講中の私語がひどい。	プリントなどを使いながら一人ひとりの意見を聞いてくれた。	
28		テーマによってはわかりづらいものもあったので7難しいものは詳しく説明して欲しかった。	人とのコミュニケーションの取り方が分かったのでよかった。	
29	就職の話やコミュニケーションの取り方など勉強できてよかった。			
30				
31	私自身、知らなかったことを沢山知ることができ良かった。		分かり易く良かった。	
32	これから是非続けて欲しい。		ためになることが多くあったので良かった。	
33		内容が何を伝えたいのか分からない時があったので分かり易くして欲しい。		一人づつ意見を言うのは最後は意見がなくなってくるので改善して欲しい。
34	専門の先輩の話や色々な方面の話を聞けてためになった。	話だけでなくその方の実際の職場などに行ってみたかった。	多人数の中では詳しく質問できなかった事が質問できたので良かった。	
35	外部講師の講話がとても為になった。学生の時にやるべき事を教えてくれたり社会に出るためのアドバイスに共感した。		先生に質問したらすぐに回答してくれた。	
36	コミュニケーションが取り易くなった。			
37	職業に対する意識が強くなった。		先生に聞きやすい。	
38	2年生と一緒に受けられたことが良かった。			
39			話しやすい。	

設問5「全体での授業内容」の良かった点は、「より就職に向けた情報を得ることができた」、「専門の先輩の話や色々な方面の話を聞けて為になった」、「外部講師の講話がとても為になった。学生の時にやるべき事を教えてくれたり、社会に出るためのアドバイスに共感した」、「職業に対する意識が強くなった」、「コミュニケーション（授業）は将来のためになった」などの意見が挙げられた。このように学生は、本授業を通して進路に関する具体的な情報や専門職の知識を得るとともに将来について強く意識し、栄養士という専門の職業について自ら考える機会を得ている様子が窺えた。池田らによって「職業意識の確立」の項目は開講以降やや下降傾向にあったものの2008年から学生部就職課企画によってキャリア教育が導入され、最も興味を持ったユニットとして28.8%を示し上昇傾向を示している²⁾と報告されている。現在はこの項目が更に充実し、学生支援課によるキャリアガイダンス（3回）と専門職の役割や職務内容について外部講師や学科教員による講義等で全体の1/3の時間数を占めている。内容、時間数ともに『あすなろう』の大きな部分を占めているといえる。また外部講師による講話は、毎年7月のあすなろ会（本学保護者会）の際に行い、保護者と1・2年生合同で講話を聴けるように設定し進路意識の向上を目指している。これらの結果が全体授業での良かった点として今回のアンケートに記され、学生の授業への満足度として現れたと推察する。

設問5「全体での授業内容」の改善すべき点は、「配布物をテキパキして欲しい」、「受講中の私語がひどい」など授業時間中での要望、「後で見直すためにもう少し資料が欲しい」、「教室の指定掲示を早くして欲しい」などの授業時間外での要望、「わかりづらかった」、「分かり易くして欲しい」などの授業内容に関する要望などがあった。

設問6「少人数での授業内容」の良かった点は、「聞きやすい」、「話し易い」、「質問しやすい」など一人ひとりにちゃんと指導が行きわたったとの学生の実感からくる満足度が窺えた。

設問6「少人数での授業内容」の改善すべき点は、「少人数でも動きづらい授業もありもう少しグループ分けして欲しい」、「多くの意見は聞くことができなかった」など従来の授業と比べると少人数授業であるはずが、まだ人数が多く、更に小グループでの実施を望む意見が見られた。

設問5, 6の結果より全体授業は、配布資料の数や方法に工夫する点が必要であったが内容がより具体的な卒業生の講話など職業教育に関わるものには学生の関心が高くその評価も肯定的なものが多く見られた。少人数の授業では教員と受講者でコミュニケーションがよく取れた点で肯定的評価が多く見られた。一方、全体授業はコ

ミュニケーションが取りにくいので内容が伝わりにくくなるため、具体的内容が求められるようであった。

4. ま と め

大学・短期大学を取り巻く状況は劇的に変化し、入学してくる学生達も大きく変容しているのが現状である。このような変化に対応し、本学でも様々な検討がなされてきた。本学の特色のあすなろう科目の中で『あすなろう』は、初年次科目としてだけでなく、将来栄養士となるために必要な学科のキャリア教育、導入教育としても極めて重要な科目となっている。食と栄養の知識を有した専門人となるべく学生を教育するため学科としての本授業の検証は重要であると考え、今回、食物栄養学科における初年次教育及びキャリア教育として『あすなろう』はどのような意味を持つかについて授業内容と学生による授業アンケートの結果を検討した。

高校生から大学生へ変化する上で本学の初年次科目としての有用性、学ぶ目的の理解、来年度の開講の希望の3項目の結果は全て3ポイント以上で肯定的回答が得られた。

設問4（複数回答）では、[⑧コミュニケーションの重要性を知るようになった] 46.2%、[⑤学校の歴史や建学の精神など理解できるようになった]・[⑥将来のことを考えるようになった] 43.6%、[①先生やクラスの友人とのコミュニケーションが取り易くなった] 30.8%などが上位となった。

設問5, 6の記述欄については、良かった点として将来の職業に役立つ情報や具体的な現場の話、コミュニケーションコミュニケーション技術の情報と体験、少人数授業でのコミュニケーションについての記述が多く見られた。改善点としては、目的や内容が理解できなかったとの意見や授業の前後での要望が挙げられた。

本学では建学の精神を反映したあすなろう科目が展開され、初年次教育やキャリア教育・職業教育が実践されている。本年度よりキャリア教育の義務化を受け、これまでのあすなろう科目群について再編を行い、新たに「あすなろう（就業）」としてキャリア教育を実施した。平成20年12月の「学士課程教育の構築に向けて（答申）」の提言に学生の自主的向上支援のために「職業指導（キャリアガイダンス）」を適切に大学の教育活動に位置づけることが求められている。この支援にもあすなろう科目が中心となり、この中で総合的に教育していく必要がある。その一方で、実践のための内容整理と有効なキャリア教育の具体的な項目の棲み分けも必要である。学科の3つのポリシーが打ち出され、新たなあすなろう4科目が実施された今、再度それぞれの内容について吟味しその位置づけを明確化することが求められている。入学初

期より開講する『あすなろう』で初年次教育に加え、限られた時間で学科のキャリア教育のどの部分を効果的に

取り入れ栄養士として必要な職業人としての人間教育を行っていくのか今後検討していく必要がある。

(資料1)

H23年度 あすなろう授業計画 (食物栄養学科) 2011/4/6 現在							
週	授業日	授業テーマ	担当者	補助担当	教室	備考	備考2 (各担当者が行う)
1	4月13日	スタディ・スキル1 (高校と大学の違い)	久富		421		*担当者にてワークシート回収 (出欠はワークシートにて行います。遅刻者はワークシートには遅刻と記して下さい。)
			桑原		122		
			橋本		432		
			西岡		422		
			武富		631		
			田中		521		
2	4月20日	学校を知る	福元裕二	馬場・田中 知・西田	531	3学科合同 *スーツ着用	
3	4月27日	スタディ・スキル2 (ノートのとり方)	久富		421		*ワークシート回収 (出欠はワークシートにて行います。遅刻者はワークシートには遅刻と記して下さい。)
			桑原		122		
			橋本		432		
			西岡		422		
			武富		631		
			田中		521		
4	5月11日	スタディ・スキル3 (作文)	久富		421		*ワークシート回収 (出欠はワークシートにて行います。遅刻者はワークシートには遅刻と記して下さい。)
			桑原		122		
			橋本		432		
			西岡		422		
			武富		631		
			田中		521		
5	5月18日	職業意識の確立1	学生支援課		531	3学科合同 *スーツ着用	
6	5月25日	職業意識の確立2	学生支援課		531	3学科合同	*ワークシートなし
7	6月1日	コミュニケーション1	桑原	溝田	422	各教室から631へ移動	*ワークシート回収
			武富	久富	631		
8	6月8日	コミュニケーション2	桑原	溝田	422		*ワークシート回収
			武富	久富	631		
9	6月15日	職業意識の確立3 栄養士の職場とは	成清ヨシエ 橋本正和		222		*ワークシート回収
10	7月9日 あすなろ会	職業意識の確立4 栄養士の職域について	卒業生	橋本・児島	631	*スーツ着用	*ワークシート回収
11	6月29日	先達に学ぶ	エルダー	田中・西田	631	生福実習 2学科合同 *スーツ着用	
12	7月6日	人間理解1 (喫煙と性)	吉村浩美	田中・西田	631	2学科合同	
13	7月13日	職業意識の確立5	学生支援課		631	3学科合同 *スーツ着用	
14	7月20日	人間理解2 科学と人間	西河貞捷	馬場・田中・ 西田	531	3学科合同	
15	7月27日	コミュニケーション3	桑原	溝田	422		*ワークシート回収
			武富	久富	631		

- 1) 「学校を知る」、「職業意識の確立1, 2, 5」*、「人間理解2」は3学科合同
- 2) 「スタディ・スキル1, 2, 3」は小グループ単位で実施 (グループや教室については掲示を確認)
- 3) 「職業意識の確立3, 4」は学科企画
…各学科の先生より、テーマ、担当者、場所 (場合によっては授業日) の説明があります
- 4) 「コミュニケーション」は、クラス単位で実施 (但し1では時間中に教室移動があります)
コミュニケーション1: 演習→ビデオ学習、2: ロールプレイ、3: 手紙 (葉書) の書き方指導*

月日	区分	場 所	内 容	主担当
4/15	共あす	1年生: 631 教室	オリエンテーション(校内施設見学を含む) (7グループに分かれて移動後、配属希望調査)	西岡
		2年生: 指定教室	各研究室に分かれて代表者(引率)の選出と紹介の準備 代表者: 631 教室集合、1年生の引率 その他: 指定教室に待機(2年生が各分野について発表)	各教員
4/22	共あす	531 教室	栄養計算のやり方について (各研究室毎に2年生が1年生を指導する) ・成分表、電卓、コンパス、定規等の筆記用具を持参	成清 全教員
5/6	共あす	指定教室	4分野に分かれて食育推進活動を行う 3時15分～3号館ラウンジにて出身校別交流会(集合写真含)	各教員
5/13	就業	1年生: 422 教室	1年生: 就職模試	学生支援課
		2年生: 631 教室	2年生: 履歴書の書き方	
5/20	共あす	指定教室	4分野に分かれて食育推進活動を行う	各教員
5/27	就業	指定教室	基礎学力UP講座①	各チューター
6/3	就業	631 教室	言葉遣い・礼儀作法(ビジネスマナー) ※スーツ着用	外部講師
6/10	就業	631 教室	面接指導① ※スーツ着用	学生支援課
6/17	共あす	指定教室	4分野に分かれて食育推進活動を行う	各教員
7/1	共あす	指定教室	4分野に分かれて食育推進活動を行う	各教員
7/8	就業	指定教室	基礎学力UP講座②	各チューター
7/15	共あす	指定教室	4分野に分かれて食育推進活動を行う	各教員
9/30	就業	531 教室	面接指導② ※スーツ着用	エルダー生
10/7	共あす	指定教室	4分野に分かれて食育推進活動を行う	各教員
10/14	共あす	指定教室	4分野に分かれて食育推進活動を行う	各教員
10/22	就業	631 教室	あすなろ会 一職業人に求められこと ※スーツ着用	外部講師
学園祭	共あす	食育展示ブース	学園祭にて食育推進活動内容を発表する	各教員
行事	共あす	調理実習室・ 展示会場	おせち・クリスマス料理大会 参加 デコレーションケーキ大会 参加	全教員
1/13	就業	指定教室	基礎学力UP講座③	各チューター

2年生

◎4分野(指定教室)

栄養・料理: 成清(431 食品加工実験室)、西岡(511 第2調理実習室)、武富(631 教室)

食 品: 橋本(432 実験室)、田中(521 実験室)、乗富

運 動: 久富(体育館)、児島

情 報: 桑原・溝田(122 第1情報処理室)、松田

◎チューター(指定教室)

成清(431 食品加工実験室)、久富(223)、桑原(122 第1情報処理室)、橋本(432 実験室)

田中(521 実験室)、西岡(511 第2調理実習室)、武富(631 教室)、溝田(122 第1情報処理室)

児島(135 教室)、乗富(215 教室)、松田(631 教室)

(資料3) 平成23年度「あすなろう体験」ユニットオプション

オプション名	期日	内容	時間	場所	主体
ガタリンピックボランティア・雨天のため中止	5月29日(日)	前夜祭あり(希望者)進行・運搬・誘導	20:00～22:00 8:00～夕方	道の駅鹿島 鹿島市大字音成甲4427-6	ガタリンピック実行委員会
裁判所見学	8月末～9月始め			佐賀市	短期大学部
古湯映画祭	9月17日(土)～19日(月)	当日ボランティア 実行委員ボランティア	9:00～18:00 20:00～22:00	富士支所	古湯音楽祭実行委員会
佐賀県立博物館・美術館の見学	9月午後				短期大学部
企業インターシップ	夏休み期間5日間				
アーリーエクスポージャー	夏休み期間5日間	食物栄養学科では実施しない	—	—	—
バルーンフェスタボランティア(雨天のため中止・6日の一部のみ実施)	11月2日(水)～11月6日(日)	係留のお手伝い・迷子係 5日中2日以上できる人	日によって違う	嘉瀬川沿い	佐賀バルーンフェスタ組織委員会
成果報告会	2月	各学科発表			短期大学部

参考文献

- 1) 池田孝博・堀勝治:佐賀短期大学の一般教育科目『あすなろう』は、初年次教育か?、永原学園佐賀短期大学紀要39(2009)
- 2) 池田孝博・他:佐賀短期大学における初年次教育の取り組みとその評価 ―一般教育科目「あすなろう」への学生による授業評価から―、永原学園佐賀短期大学紀要39(2009)
- 3) 愛媛大学教育・学生支援機構共通教育センター企画室:平成19年度初年次科目アンケート調査報告書(2007)